



乳歯の内側に生えてきた永久歯



永久歯が変なところから 生えてきちゃった!?



少しだけ麻酔をかけて抜歯



器具を使って下あごの拡大

A あごが萎縮しているため、歯の大きさと不調和をおこしていますね。将来歯並びのよい子に育てたいとお母さまがご希望されているのであれば、かかりつけの歯科医に早めにご相談ください。麻酔をかけて抜歯してもらい、早期（1期）矯正治療を開始するとよいと思います。早期（1期）矯正治療では下あごを拡大し、正しい位置に歯が生えるようにします。

Q 5歳の息子の下の前歯が生えかわっていないのに永久歯が内側に生えてきてしまいました。どうすれば良いのですか？



山口芳照 歯科医師
Yoshiteru Yamaguchi

浜松市中区佐藤町「やまぐち歯科矯正歯科医院」院長。インプラント、審美歯科、床矯正、ホワイトニングを得意とする。「自分がクライアント（患者）だったなら“受けたい”と思う歯科医療を提供する」が信条。

3歳児からの早期歯並び治療



「受け口」っていつ、どうやって治す？

取材/やまぐち歯科矯正歯科医院 ☎053-461-2906

マウスピースで治療
↓装着は寝ている間だけ！

受け口だとかみ合わせが悪いために食べ物をしつかりと噛み砕くことができず、下の歯が長持ちしない場合があります。また息が漏れるため発音に支障が出るケースもあります。

最近注目されているのが厚生労働省の認可を取得している「ムーシールド」による治療法ですね。これは特殊なマウスピースの装着で舌の位置を上げ、口の周りの筋肉を正常化することで上あごの成長を促し、下あごの成長を抑えるもの。なんと寝ている間にだけ装着する。

※「ムーシールド」治療を行っているのは全国で約100施設（6月5日現在）のみ。日本歯科医師会は現在普及に力を入れているようです。



1年以内に効果、9割改善

下の歯が上の歯より前に出ている受け口（反対咬合）。厚生労働省によれば、3歳児検診で年間4〜5万人（全体の4〜5%）の割合で見つかります。ところが「しばらく様子を見ましよう」と言われ、そのまま放置されてしまうケースがほとんど。しかし自然に治る割合は1割に満たないのです。いつ、どのように治療すれば良いのか？山口先生にお聞きします。



やまぐち先生が答えました！

歯に関する悩み・質問に
ママミーヤ誌面上でお答えします！
※質問すべてに回答するものではありませんのでご了承ください。尚、これにより得た個人情報については他に開示しないものとします。質問はメールにて受け付け！
■アドレス/dental@c-shopper.co.jpまで。